

# 「奈良県子育て実態調査」結果のポイント

## 1 出会い・結婚について

**「いずれ結婚するつもり」と考える独身者が減少し、結婚を希望する年齢も上昇。独身者の結婚意欲が低下。**

- ・ 独身男性の「いずれ結婚するつもり」は67.1%（11頁）  
H20年県調査83.7%より16.6ポイント減少
- ・ 独身女性の「いずれ結婚するつもり」は72.9%（11頁）  
H20年県調査83.2%より10.3ポイント減少
- ・ 20歳以上40歳未満の独身は、男女ともに希望結婚年齢が上昇（14頁）  
25歳～29歳男性の希望結婚年齢 31.9歳（H20年県調査30.4歳より1.5歳上昇）  
25歳～29歳女性の希望結婚年齢 30.6歳（H20年県調査29.3歳より1.3歳上昇）
- ・ 非正規雇用の独身者の結婚意欲は、正規雇用の独身者よりも低く、この傾向は男性の方が強い（13頁）  
「いずれ結婚するつもり」の独身男性のうち、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」 … 正規職員50.4% 非正規職員57.8%

## 2 子ども数等について

**夫婦の「子ども数」及び「予定している子ども数（現在の子ども数を含む）」は増加。いずれも全国調査結果を上回っている。**

- ・ 夫婦の子ども数（結婚後15～19年の初婚どうしの夫婦） … 2.17人（17頁）  
（H20年県調査2.08人より0.09人増加。H22年全国調査では1.96人）
- ・ 夫婦が予定している子ども数（初婚どうしの夫婦） … 2.22人（20頁）  
（H20年県調査2.17人より0.05人増加。H22年全国調査では2.07人）

## 3 子育ての状況について

### ① 妻の子育ての不安・負担感が減少。

- ・ 身体的・体力的な不安・負担感を「強く感じる」 H20年 18.9%→H25年 14.8%（23頁）
- ・ 心理的・精神的な不安・負担感を「強く感じる」 H20年 19.8%→H25年 13.3%（24頁）
- ・ 金銭的・経済的な不安・負担感を「強く感じる」 H20年 36.2%→H25年 24.8%（25頁）  
（いずれも6歳未満の子どもがいる夫婦の妻）

### ② パートナー(夫)と一緒に子育てをしている妻は、そうではない妻に比べて、子育ての心理的・精神的な不安・負担感が低い。

- ・ 心理的・精神的な不安・負担感を「強く感じる」割合（27頁）  
→「パートナー（夫）と一緒に子育てをしていると感じている」場合 12.4%  
「パートナー（夫）と一緒に子育てをしていると感じていない」場合 19.3%
- ・ 心理的・精神的な不安・負担感を「強く感じる」割合（28頁）  
→「子育てについてパートナー（夫）とよく話し合っている」場合 11.1%  
「子育てについてパートナー（夫）とよく話し合っていない」場合 22.4%  
（いずれも6歳未満の子どもがいる夫婦の妻）

**③ 「子育ては楽しい」と感じる妻が増加。一方、子どもがいない独身者で「子育ては楽しい」と思っている人は少ない。**

- ・「子育てを楽しんでいることの方が多い」（6歳未満の子どもがいる夫婦の妻）（29頁）  
H20年 59.1% → H25年 64.4%
- ・「子育てを楽しんでいると思う」（子どもがいない独身者）（29頁 今回新規項目）  
男性 14.4% 女性 18.9%

**4 妻の就労状況について**

**① 妻の約6割が第1子出産を機に退職。仕事を辞めた理由は、「家事・子育てに専念したかったから」が1位。**

- ・第1子妊娠時に就労している妻 59.8% → 第1子1歳時に就労している妻 23.7%  
(37頁)
- ・50.5%が仕事を辞めた理由を「家事・子育てに専念したかったから」と回答。次いで多いのは、「子どもが生まれ、仕事と子育ての両立が困難となったから」が18.2%（複数回答）。  
(41頁)

**② 就労を希望する女性は、約9割が「パート・アルバイト」を希望。また、「自宅から30分以内の職場」を希望。**

- ・94.0%が「パート・アルバイト」での就労を希望（複数回答）（39頁）
- ・希望通勤時間は、「15分以内」が21.3%で、「30分以内」が66.3%（40頁）

**③ 就労を希望する女性の就労にあたって必要な条件は、「子どもの看護・授業参観等の際に休暇を取りやすい職場であること」が1位。**

- ・就労を希望する女性の82.3%が就労に必要な条件として、「子どもの看護・授業参観等の際に休暇を取りやすい職場であること」を回答。次いで多いのは、「短時間勤務ができる仕事があること」が76.9%（複数回答）（40頁）

**5 今後の子育て支援策について**

**夫婦が重要と考える子育て支援策は、「小児医療体制整備など子どもの健康支援」が1位。**

- ・「かなり重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合が高い項目
- 1位 「小児医療体制整備など子どもの健康支援」 89.8% (43頁)
- 2位 「子育てにかかる経済的支援」 89.6%
- 3位 「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」 88.3%